



The 2nd
GASPAR CASSADO
International
Violoncello
Competition
in HACHIOJI

2009
Nov.27
Dec.06

www.cassado-cello.jp

REQUIEBROS

カサドコンクール情報紙・レキエブロス

第5号・2009年6月1日発行

発行：ガスパール・カサド国際チェロ・コンクール実行委員会
東京都八王子市元横山町一丁目29番3号

CASSADo
CLUB

1

あの感動をふたたび! 第2回カサドコンクール・11月27日開幕



3年に1度の祭典

第2回カサドコンクールが11月27日から12月6日までの10日間、開幕します。

このコンクールは1969年から1990年までイタリア・フィレンツェで開催され、第10回をもって途絶えていたコンクールを2006年に「第1回ガスパール・カサド国際チェロ・コンクール in 八王子」として市民の手で復活させたものです。

3年前の第1回をご覧になられた方にはあの感動がふたたびよみがえることでしょう。残念ながら前回ご覧にならなかった方には本号で第1回を振り返りながら、第2回の見どころ・聴きどころをお知らせします。

予選は入場無料

予選出場者は書類と音源による予備審査を通過した若きチェリストです。

第1回は24か国から74名の応募があり、参加承認者は19か国45名で最終的な出場者は38名でした。予選期間中は入場無料で好きだけ、何時間でも聞くことができます。お気に入りの人を応援するのも楽しみのひとつです。

今回の第1予選の課題曲は4曲のうち2曲が全員に課せられま

す(右表参照)。同じ曲でも演奏者によってテンポや曲想が違う、異なる印象を楽しむことができます。

第1予選通過者の発表は審査委員が出場者の氏名を読み上げます。そのため、会場の雰囲気も緊張感に包れます。惜しくも予選通過ができなかった人で、八王子の滞在を希望する場合はホームステイとなります。

第2予選ともなるとリサイタルに匹敵する力量が要求されます。選曲や曲順で個性がはっきり現れるのをお楽しみください。予選は午後スタートし、夜8時頃まで続けます。第1回目の時にはずっと聴き続けて、満喫していた人もいました。

本選はオーケストラとの協演

そして予選を勝ち上がってきた3名により本選が行われます。本選の醍醐味は何と言ってもオーケストラとの素晴らしい協演です。また、聴衆の投票によって決定する「聴衆賞」も楽しみのひとつです。前回の本選チケットは、わずか3週間で完売となりました。

カサドクラブの会員には優先予約を7月末に実施しますので、優先予約をご希望の方は6月中にご入会ください。

REQUIEBROS

第5号

- 1 第2回カサドコンクール開幕
- 2 コンクールの見所紹介
- 3 審査委員の紹介
- 4 カサドクラブ募集中!
- 5 コンクールグッズ製作中!
- 6 子どものための情報紙創刊
- 7 まちなかコンサート開催中

—— 第6号 次号予告 ——

- 1 参加承認者決定!
- 2 多摩地区・全市町村が後援

次号は、7月20日発行予定です。

第2回カサドコンクール課題曲

第1予選：A、Bから各1曲、Cを加えた計4曲。

- A) バッハ：無伴奏チェロ組曲よりプレリュードとサラバンド
第4番 変ホ長調・第5番 ハ短調・第6番 ニ長調
- B) ベートーヴェン：チェロ・ソナタ第3番 イ長調 作品69より
第1楽章(アレグロ・マ・ノン・タント)
チェロ・ソナタ第4番 ハ長調 作品102より
第1楽章(アンダンテ・アレグロ・ヴィヴィアーチェ)
- C) フレスコバルディ・カサド：トッカータ・日本人作品(無伴奏)

第2予選：出場者の選曲によるリサイタルプログラム。

- G.カサドの無伴奏チェロ組曲(全楽章)を含む、45分以内のリサイタル・プログラムを組み、プロ奏者としての力量を示せる内容とすること。無伴奏、ピアノ伴奏、大作からの抜粋も可能。

本選：下記の協奏曲より任意の1曲。

- R.シューマン：協奏曲 イ短調 作品129
- P.チャイコフスキイ：ロココ風の主題による変奏曲 イ長調 作品33
- S.プロコフィエフ：協奏曲 第2番 ホ短調(交響的協奏曲)作品125
- D.ショスタコーヴィチ：協奏曲 第2番 ブ短調 作品126
- H.デュティユー：協奏曲「遙かなる遠い国へ」

REQUIEBROS

バックナンバー

第1回カサドコンクールの情報紙として2006年に誕生しました。情報紙はコンクールの年だけ発行され、前回は第4号まで発行しました。

情報紙の愛称“レキエブロス”はカサドの代表的な作品である「親愛なる言葉」の原題から親愛なる思いを込めてつけた名前です。

レキエブロスの第1号から第4号は、下記ホームページで公開

ホームページ <http://www.cassado-cello.jp>

しています。各号の内容は次の通りです。コンクールの準備状況やインタビューコーナーなどをご覧いただけます。

- 第1号：カサド年譜その1
- 第2号：参加承認者決定！
カサド年譜その2
審査委員プロフィール
- 第3号：予選出場者発表！
カサド年譜その3
- 第4号：結果発表と報告

2

コンクールの見所紹介! 10日間にわたる熱戦

ここでは、第2回カサドコンクールのスケジュールと見どころを第1回の模様を交えながら

ご紹介します。コンクールの募集要項は2008年6月に世界各国へ発送されています。

申込締切は6月15日で、予備審査を経て、9月中旬には出場者が確定します。

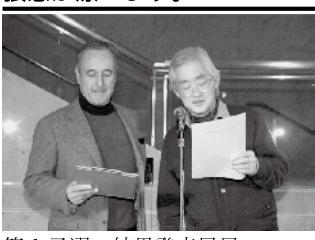
さて、今回は何か国から何名の応募があるでしょうか、楽しみです。

この日まで、出場者も関係者も、誰も演奏順を知りません。



コンクールはここから始まります。抽選カードを引く出場者。写真はアメリカからのレキロさん。

運命の別れ道。発表直前は緊張感が漂います。



第1予選の結果発表風景。



発表後惜しくも落選した出場者にアドバイスをする審査委員。

すべての人が、かたずをのんで結果を待ちます。



すべてを出しきって、発表を待つ出場者。緊張感が広がります。

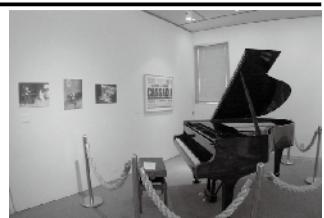
祝福に応えるように、入賞者の演奏がホールに響きます。



日本人作品賞を受賞した藤井泉さん。

11月24日(火)	10:00-	出場者受け入れ開始
	10:00-	カサド展オープン
11月25日(水)		ホームステイ先との面会
11月26日(木)	14:00-	出場順抽選会
	19:00-	歓迎パーティー
11月27日(金)	10:30-	第1予選・1日目
11月28日(土)	10:30-	第1予選・2日目
11月29日(日)	10:30-	第1予選・3日目
		結果発表
11月30日(月)	13:00-	第2予選・1日目
		第一次ホームステイ開始
12月1日(火)	13:00-	第2予選・2日目
12月2日(水)	13:00-	第2予選・3日目
		結果発表
12月3日(木)		第二次ホームステイ開始
12月4日(金)		市内等見学
12月5日(土)	15:00-	本選
		結果発表
	20:30-	記者会見
12月6日(日)	14:00-	表彰式
	15:30-	披露演奏会
12月7日(月)	18:30-	さよならパーティー
		出場者帰国開始

ガスパール・カサドに関する特別展示です。



第二展示室では、カサドの妻、原智恵子の貴重な資料も展示されます。

いよいよ熱戦の幕が開きます。朝から晩までチエロ一色。



予選にもかかわらず、連日満席の第1予選風景。整理券を発行しました。

予選を勝ち残った3名だけが立てる夢の舞台です。



本選はオーケストラと協奏曲を演奏。写真は2位と聴衆賞を受賞したセルビアから出場のマーヤ・ボグダノヴィッチさん。

たくさんの人々から、祝福を受けます。



第1位は韓国からのソンミン・カンさんでした。



さよならパーティーにはカサドクラブの方も参加できます。(有料)

※上記の時間は予定です。予告なく変更する場合がありますので、予めご了承ください。
ボランティア募集中!
カサドコンクールでは、多くのボランティアスタッフを募集しています。会場運営や広報紙の制作、英語通訳、ホームステイ受け入れ等でご協力をお願いしています。
詳細は、コンクール事務局までお問い合わせください。
(TEL : 042-631-0705)

3

審査委員の紹介 世界的なチェリストが集まる

今回は7カ国、計9名のチェリストが審査委員を務めます。審査は、第1予選から本選までの計7日間にわたって行います。非常に長くそして忍耐力も必要と思われる審査の作業ですが、前回の審査委員からは、「それぞれの演奏が素晴らしい、個性と個性のぶつかり合いで聴いていて疲れるというよりは、とても楽しい審査でした」という感想がありました。

倉田澄子（日本）

KURATA Sumiko



桐朋学園高校在学中、日本音楽コンクールに入賞。同大学在学中渡仏。パリ国立音楽院のチェロ科と室内楽科を首席で卒業。最近の活動では「カザルスに捧げるチェロ連続リサイタル」「リサイタル“フォーレの世界”&“ベートーヴェンの世界”」「シューマンのチェロ協奏曲(都響&パスカル・トルトゥリエ指揮)」など。現在、桐朋学園大学教授。

堤 剛（日本）

TSUTSUMI Tsuyoshi



15歳で日本音楽コンクール第1位・特賞。桐朋学園高校音楽科卒業後、インディアナ大学に留学。1963年には21歳で師シュタルケルの助手を務める。同年ミュンヘン国際コンクール第2位、カザルス国際コンクール第1位。インディアナ大学教授等をへて、現在、桐朋学園大学学長、サントリー音楽財団理事長、霧島国際音楽祭音楽監督、日本チェロ協会会长等を務めている。

そして審査をするうえでは、厳しい規定もあります。例えば、審査委員は第1予選開始から本選終了までの間、出場者とはいかなる場合も接触してはならないことになっています。予選が終わると、規定に従い審査委員会を開き、予選通過者や賞を決定します。決定する賞は、第1位から第3位までの他、ガスパール・カサド作品最優秀演奏賞、日本人

山崎伸子（日本）

YAMAZAKI Nobuko



桐朋女子高等学校音楽科、同大学音楽学部卒業。第1回民音室内楽コンクール第1位、第44回日本音楽コンクール・チェロ部門第1位。卒業後、文化庁海外派遣研修員として2年間ジュネーブでピエール・フルニエに師事。日本国内外の主要オーケストラとの共演多数。1987年「村松賞」、「グローバル音楽賞第1回奨励賞」受賞。現在は、東京藝術大学准教授。

ルイス・クラレット（スペイン）

CLARET Lluís



リセウの音楽院を優等で卒業。ボロニャ、カザルス、ロストロポーヴィチの各国际コンクールに優勝。室内楽にも力を注ぎ、バルセロナ・トリオの創立メンバー。レパートリーはバッハから現代作曲家まで多岐にわたり、特に現代作曲家(デュティユー、ルトスワフスキ、ブーレーズ、クセナキスなど)がクラレットのために書いた作品を初演。

作品最優秀演奏賞があります。さらに本選では聴衆賞もあり、こちらは審査委員の裁定とは別に、本選に来場した聴衆の投票によって決定します。未来のチェリストを選ぶのは、審査委員と聴衆の皆さんです。以降、審査委員の簡単なプロフィールです。

アラン・ムニエ（フランス）

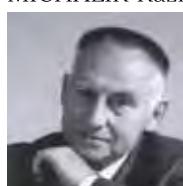
MEUNIER Alain



13歳でパリ国立高等音楽院入学、15歳で室内楽、16歳でチェロのプリミエ・プリを獲得する。24歳からイタリアシエナのキジアーナ音楽院で教鞭をとり、フランス・リヨン国立高等音楽院の教授を経て、1989年からはパリ国立高等音楽院の教授として後進の指導にあたる他、「ボルドー国際弦楽四重奏コンクール」の総裁を務める。

カズミミエジュ・ミハリク（ポーランド）

MICHALIK Kazimierz



国立カトヴィツェ音楽アカデミーで学ぶ。ワルシャワ国立フィルハーモニー管弦楽団コンサートマスターを務めた。ワルシャワのフレデリックショパン音楽アカデミー教授。シベリウス・アカデミー客員教授。欧洲、韓国などで講演する傍らルトスワフスキ国際コンクールを始め国際的な音楽コンクールの審査員を務める。

ローレンス・レッサー（アメリカ）
LESSER Laurence



1966年チャイコフスキーコンクールで最高賞受賞者。彼のために書かれたメノッティのファンタジアを1976年に小澤征爾指揮で、1991年にはロストロポーヴィチ指揮で演奏。チェロの教育に情熱を傾け2005年にインディアナ州立大学から“Chevalier du Violoncelle”を授与。現在ニューアーイングランド音楽院にて、国際クラスで各国からの留学生を指導。

ヤン・ソン・ウォン（韓国）

SUNG-WON Yang



1981年パリ音楽院入学。1986年渡米し、インディアナ音楽大学へ。1991年

ニューヨークデビュー。

ソウル、パリでのソロリサイタルを始め、チョン・ミョンファンとの室内楽も多数。

2005年バッハの無伴奏組曲を全曲レコーディング。また、韓国にて3つのコンチェルトを連日演奏した。現在、韓国国立藝術大学教授。

アルト・ノラス（フィンランド）

NORAS Arto



ナーンタリ音楽祭の創始者であり、現、芸術監督。シベリウス・アカデミーをへてパリ音楽院にて研鑽を積む。1964年プルミエ・プリを得て卒業。1966年のチャイコフスキーコンクール第2位。1970年にシベリウス・アカデミーの教授に就任。室内楽音楽家としても抜群のセンスを持ち、シベリウス・アカデミー・カルテット、ヘルシンキ・トリオのメンバー。

4

コンクール公式クラブ 「カサドクラブ」募集中！

カサドコンクールでは、コンクール応援クラブ「カサドクラブ」の会員を募集しています。コンクールは未来に向け長く続けることが最大の使命ですが、それを達成するためには多くの

方の『声』を必要とし、『声』によって支えられます。カサドクラブは、会員の『声』を活かし、応援することによって『楽しみ・喜び・うれしさ』の創造を目指す会員制度です。

入会金
1,000円

年会費
2,000円/一ヶ月

会員期間
入会承認月を含む12ヶ月間 ※入会承認月とは、会費を納入いただいた月とします。 例え、4月20日に会費をお納め頂いた場合は、4月から翌年3月末日までが会員期間となります。

会員特典

- ◆コンクール及び関連事業のチケットの先行予約と割引販売
- ◆チェロ・コンサートコミュニティー主催公演のチケットが20%OFFでご購入可能
- ◆八王子市学園都市文化ふれあい財団主催公演のチケットが10%OFFでご購入可能
- ◆年4回のDMと年2回発行の会報誌「SUITE」で、コンクールの情報をいち早くお届け！

5

グッズ製作が始動! 福祉作業所との協働グッズも発売

コンクールグッズの製作が始まっています。今回のグッズ製作では、NPO法人八王子ワークセンターを通じて、八王子市内の福祉作業所と協働でグッズ製作を実施します。これは、「コンクール」を「街」に利用してもらう仕組みのひとつで、コンクールが福祉作業所の社会参画や自立支援の手助けになれるすることを目指しているものです。



CASSADO CONCEPT GOODS 01 カサドの竹紙

八王子の里山保全によって伐採された『竹』を使用したリサイクルペーパーによるレターセットです。

予定売価：1,200円(税込)

内容：一筆箋5枚・便箋4枚・封筒2枚
封緘2枚

CASSADO CONCEPT GOODS 02 カサドのお散歩ケース

牛乳パックと楮(こうぞ)による紙製のパスケースです。いろいろな場面に合わせてご利用ください。

予定売価：1,000円(税込)

内容：スイカやバスモなどのカードが1枚入ります。



牛乳パックを集めています!

福祉作業所とのコンクールグッズのひとつに、牛乳パックを再利用した「しおり」を作成します。この商品は「しおり」としてだけでなく、メッセージカードとしても利用できる予定です。そこで、作成に必要な、牛乳パック(紙パック)を集めています。募集の方法は右の通りです。

グッズ製作に皆様のご協力をお願いします。

募集の方法

- ①使用済みの牛乳パック(紙パック類)を良く洗い水につけます。
- ②両面についているコーティング紙をはがし、乾燥させます。
- ③郵便で、カサドコンクール事務局までお送りください。

郵送先

192-0063 八王子市元横山町1-29-3
カサドコンクール事務局 宛

第1回カサドコンクール第1位入賞者ソンミン・カン 入賞記念アルバム発売中



第1回カサドコンクール第1位
ソンミン・カンの入賞記念CDア
ルバムを発売しています。

収録曲は、コンクールの第1予

6

子どものための情報紙 が創刊しました。



カサドコンクールのボランティアグループのひとつ、広報支援グループによる、子どものための情報紙「ちえろタウン」が創刊しました。

この情報紙は、小学校低学年以下の子どもを対象にしたもので、カサドのこと、チエロのこと、チエロに関連する音楽情報を分かりやすく紹介しています。

2009年の発行は、全3号を予定しています。掲載内容は左記の通りです。

おとなの方にも読んで欲しい内容になっていますので、ぜひ、お子様やお孫さんと一緒に読みください。

情報紙は、八王子市役所の事務所及びいちょうホール、南大沢文化会館などの公共施設に設置しています。その他、ホームページからもダウンロードできます。

第1号(配布中)

- ・チエロの構造と誕生の歴史
- ・カサドさんの紹介(少年時代)

第2号(7月発行予定)

- ・カサドさんの紹介(青年時代)
- ・チエロが奏てる音について

第3号(9月発行予定)

- ・カサドと妻、原智恵子
- ・コンクールに出場するには

7

まちなかコンサート 2009年も各所で開催



2009年のまちなかコンサートが始まっています。日程は以下の通りです。

無料で楽しめるクラシックコンサートですので、お気軽に立ち寄り下さい。なお、タウンミーティングは、八王子市主催によるイベントです。

日 程	会 場	時 間
6月13日(土)	タウンミーティング 於)浅川市民センター	18時40分開演
6月14日(日)	イトヨーカドー八王子店	①13時00分 ②16時00分
6月20日(土)	タウンミーティング 於)元八王子市民センター	18時40分開演
6月27日(土)	タウンミーティング 於)加住市民センター	18時40分開演
7月12日(日)	道の駅 八王子滝山	①11時00分 ②13時00分
7月18日(土)	京王プラザホテル多摩	①14時00分 ②15時30分

第2回ガスパール・カサド国際チエロ・コンクールin八王子
特別協賛企業